

125th



Berliner Philharmoniker
The 125th Anniversary
Documentary Film

ベルリン・フィル創立百二十五周年記念

帝国オーケストラ

ディレクターズカット版

私たちはただ

《演奏》を続けたかった
だけなのです。

ヒトラー政権下、

首席指揮者フルトヴェングラー率いる

ベルリン・フィルとナチスの関係を

当時の映像記録とインタビューで解き明かす。

友人や家族が戦地に向かう中、

何よりも音楽を愛した演奏家たちは、

苦しみながらも

ベルリンで演奏する道を選んだ……。

ディレクターズカット版で新字幕、世界初上映。

The "Reichsorchester" The Berlin Philharmonic and the Third Reich
A film by ENRIQUE SÁNCHEZ LANSCH

監督：エンリケ・サンチェス＝ランチ『ベルリン・フィルと子どもたち』

出演：フルトヴェングラー時代の演奏家とその関係者、ナチス宣伝大臣ゲッペルス

ヴィルヘルム・フルトヴェングラー（指揮）ほか、当時の記録映像収録

2008年/ドイツ/カラー、モノクロ/デジタル/97分 © EIKON Media 2007

提供・配給：セテラ・インターナショナル 協力：GOETHE-INSTITUT ドイツ文化センター

WRITTEN AND DIRECTED BY ENRIQUE SÁNCHEZ LANSCH CINEMATOGRAFIA FARIBA NILCHIAN
SOUND RECORDIST PASCAL CAPITOLIN EDITOR THOMAS WELLMANN COLLABORATOR MISHA ASTER LINE PRODUCER KRISTIN HOLST EXECUTIVE PRODUCER ULLI PFÄU COMMISSIONING EDITORS RBB DOROTHEA DIEKMANN ROLF BERGMANN
A CO-PRODUCTION OF EIKON MEDIA GMBH AND RBB IN CO-OPERATION WITH CINE IMPULS BERLIN FINANCED BY THE MEDIENBOARD BERLIN-BRANDENBURG WITH THE SUPPORT OF RBB AND EXD WORLD SALES © MAJOR ENTERTAINMENT

cetera

gala

rbb

medienboard

galar

125th



Berliner Philharmoniker
The 125th Anniversary
Documentary Film

ベルリン・フィル創立125周年記念

帝国オーケストラ ディレクターズカット版

監督：エンリケ・サンチェス＝ランチ『ベルリン・フィルと子どもたち』

出演：フルトヴェングラー時代の演奏家とその関係者、ナチス宣伝大臣ゲッベルス

ヴィルヘルム・フルトヴェングラー（指揮）ほか、当時の記録映像収録

原題：The "Reichsorchester" The Berlin Philharmonic and the Third Reich

2008年/ドイツ/カラー、モノクロ/デジタル/97分 ©EIKON Media 2007

提供・配給：セテラ・インターナショナル 協力：GOETHE-INSTITUT ドイツ文化センター

cetera rbb medienboard gajor

www.cetera.co.jp/library/Reichsorche

音楽を奏でることで、人々を守れると思った……

「帝国オーケストラ ディレクターズカット版」 新字幕、世界初上映。

初めてオーケストラの演奏家が語るナチスとの関係

創立125周年を迎えるベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の、その長い歴史の中の1933年から45年までのヒトラー政権時代に注目したのが、「帝国オーケストラ」指揮者フルトヴェングラーは戦後、ナチスのアロパガンダ（政治的宣伝）に協力したとして戦犯会議にかけられたという話はよく知られているが、本作ではオーケストラを構成していた個々の演奏家にスポットをあて、この事実をメンバーの視点から検証していく。ナチスに翻弄され、何を感じ、どう選択し演奏を続けていたか。当時を知る証言者として96歳となったヴァイオリニストのJ・バスティアン、86歳のコントラバス奏者E・ハルトマンが語り部となり、封印されていた演奏家個々の真実を明らかにしていく。本作は、過去を検証し理解するため、2007年ベルリン・フィルハーモニーの125周年式典で上映された。

初めてオーケストラの演奏家が語るナチスとの関係

ディレクターズカット版公開にやせて

この特別編集版は、完全に記録映像と貴重な時代の証言者たちの確かな生きた言葉によって、より深く視野の広い映画となりました。そして更にナチス第三帝国のもたついた緊張を鋭く描き出すことができたのです。観客は、1つの時代もまた、この複雑なテーマに心をかき乱されるでしょう。もしかしら、1つの問いが思の中を反覆するかもしれませんが、「自分だけが、どうしたのだろうか」

——エンリケ・サンチェス＝ランチ（監督）



J・バスティアン



E・ハルトマン

ヴィルヘルム・フルトヴェングラー（指揮）

1886年ベルリン生まれ。ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団で指揮デビューし、後にライプツィヒ・グヴァントハウス管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団など常任指揮者を経て、世界的指揮者として活躍。戦後は、ナチスに協力した疑いで戦争犯罪の容疑をかけられるが裁判を経て、音楽家として復帰するも、54年68歳で他界。今なお音楽史上に残る名指揮者。

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

1882年に設立し瞬く間にベルリンを代表するオーケストラとなる。J・ブラームスなど歴史に残る音楽家が指揮台に上がっている。フルトヴェングラー、カラヤン、アバドという伝説的な指揮者が常任指揮者の任につき、ラトルの今、その人気は世界各地に熱烈なファンを持つ。

CD Release

2008年10月、『英雄の生涯』をはじめとするラトル&ベルリン・フィルのCD10タイトルが、高品質CD（HQCD）で登場！オリジナルマスターに限りなく近づいたサウンドを再現！最新録音「ベルリオーズ：幻想交響曲」も10月登場！

詳細は⇒ <http://st-co.jp/rattle/>

ベルリン・フィル創立125周年記念 第1弾

german films

11月1日(土)
ロードショー!

初日1日・2日ご来場のお客様先着150名様にギリアンチョコレート(Godiva)をプレゼント!

初日12:00の回上映終了後、14:15の回上映前、監督による舞台挨拶あり

特別鑑賞券 ¥1,400 (税込) 発売中! ●劇場窓口、都内各プレイガイドにてお求め下さい。

●劇場窓口でもお求めの方に、ベルリン・フィル公式鉛筆をプレゼント(数に限りがございます)

第2弾『ベルリン・フィル 最高のハーモニーを求めて』

11月15日(土)ロードショー

連日 11:40/14:00/16:20/18:40

イベント予定あり(詳細はホームページまで)

『ベルリン・フィルと子どもたち』

アンコール上映決定! ¥1,200 均一

11月1日(土)~14日(金) 連日 18:45~

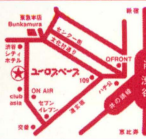
渋谷・文化村前交差点左折

EUROSPACE

TEL.03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

11/1(土)~11/14(金) 連日 12:00 14:15 16:30

11/15(土)より レイトショー連日 21:00~



同劇場にて

「帝国オーケストラ ディレクターズカット版」の前売券か半券、「ベルリン・フィル 最高のハーモニーを求めて」の前売券、いずれかをご提示いただくと¥1,000でご覧いただけます。